

②地域福祉の推進役としての地域住民への調査（案）

大阪市では、平成 30 年 3 月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした大阪市地域福祉基本計画を策定しました。多様な人々が暮らし、働き、学び、訪れる地域で、だれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

この調査は、「地域福祉」について、みなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

※あなたのお考えに近い答えがないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないときは、空白のままで結構です。

【Ⅰ. だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて】

質問 1. いまお住まいの地域について「暮らしやすい」と感じていますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. ある程度感じる
- ☐ 3. あまり感じない
- ☐ 4. 感じない

〔質問 1 で「1. 感じる」「2. ある程度感じる」と答えた方にお聞きます。〕

質問 1 - 1. あなたは、お住まいの地域のどのようなところに「暮らしやすさ」を感じていますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいるところ
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながりがあるところ
- ☐ 3. 地域活動やボランティア活動が活発なところ
- ☐ 4. 福祉や医療サービスが充実しているところ
- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利なところ
- ☐ 6. 静けさや緑が多いなど、環境がよいところ
- ☐ 7. 治安がよいなど、安心して住めるところ
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリーが進んでいるところ
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実しているところ
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）

質問 2. お住まいの地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近くに家族、親類がいること
- ☐ 2. 近所付き合いや地域とのつながり
- ☐ 3. 活発な地域活動やボランティア活動
- ☐ 4. 福祉や医療サービスの充実

- ☐ 5. 買い物や通勤・通学など日常生活の便利さ
- ☐ 6. 静けさや緑が多いなどの環境のよさ
- ☐ 7. 安心して住める治安のよさ
- ☐ 8. 公共施設や道路のバリアフリー化
- ☐ 9. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設の充実
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 11. わからない

【Ⅱ. 地域での支え合い・助け合いについて】

質問 3. 現在、生活している中で地域との「つながり」を感じることがありますか。

- ☐ 1. よくある
- ☐ 2. たまにある
- ☐ 3. あまりない
- ☐ 4. ない

〔質問 3 で「1. よくある」「2. たまにある」と答えた方にお聞きます。〕

質問 3 - 1. 地域との「つながり」を感じるのはどのような場面ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをするとき
- ☐ 2. 近所の人に日常の見守りや声かけをするとき、されたとき
- ☐ 3. 地域の人に困りごとなどの相談をする（相談にのる）とき
- ☐ 4. お祭りなどの地域の行事に参加するとき
- ☐ 5. 地域活動やボランティア活動に参加するとき
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）

質問 4. どのようにすれば、地域でお住まいの方が地域の「つながり」を実感することができるようになると思いますか。あなたの考えに近いものに✓印をおつけください。（回答は 1 つ）

- ☐ 1. お祭りなどの地域の行事等に参加してもらう
- ☐ 2. 地域福祉活動やボランティア活動に参加してもらう
- ☐ 3. ご近所同士で普段からの声のかけあい
- ☐ 4. 広報誌などで「つながり」の重要性を周知する
- ☐ 5. 地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのる
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 7. わからない

【Ⅲ. 地域福祉活動について】

質問 5. 地域福祉活動の担い手として活動をはじめたきっかけは何ですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人・知人に誘われたから
- ☐ 2. 活動場所が近所にあったから

- ☐ 3. 内容が楽しそうだったから
- ☐ 4. 健康に良さそうだったから
- ☐ 5. 団体の中に自分の役割があるから
- ☐ 6. 生きがいを得たかったから
- ☐ 7. 地域や社会に貢献したかったから
- ☐ 8. 人と関わりを持ちたかったから
- ☐ 9. 自分の経験・能力を生かすことができると思ったから
- ☐ 10. その他（具体的にお書き下さい：.....）

質問 6. 地域福祉活動の担い手として活動し続けている理由は何ですか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 活動にやりがいがあるから
- ☐ 2. 自身の健康のため
- ☐ 3. 地域や社会に貢献し続けたいから
- ☐ 4. 人との関わりを持ち続けたいから
- ☐ 5. やめると迷惑がかかるから
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 7. 特に理由はない

質問 7. 地域福祉活動の担い手として活動するにあたって、どのようなことを負担に思われますか。あなたの考えに近いもの3つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 時間が取られること
- ☐ 2. 体力を使うこと
- ☐ 3. 活動内容について相談できる人（機関）がないこと
- ☐ 4. 一緒に参加する仲間がないこと
- ☐ 5. 人間関係が難しいこと
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 7. 特にない

質問 8. 活動されている地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。あなたの考えに近いもの3つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 日常の見守りや声かけなど住民同士のつながりをつくる活動
- ☐ 2. 子どもや子育て支援に関する活動
- ☐ 3. 高齢者を支援する活動
- ☐ 4. 障がいのある方を支援する活動
- ☐ 5. 地域防災及び防犯などに関する活動
- ☐ 6. 地域の高齢者と子どもとの世代間交流活動
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）

☐ 8. わからない

質問 9. 地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思いますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。

(回答は1つ)

- ☐ 1. 活動の担い手不足（担い手の高齢化）
- ☐ 2. 活動場所の不足
- ☐ 3. 活動資金の不足
- ☐ 4. 地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 6. わからない

【IV. 住民主体の地域課題の解決力強化について】

質問 10. あなたが活動されている地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 整っている
- ☐ 2. ある程度整っている
- ☐ 3. 整っていない
- ☐ 4. わからない

質問 11. 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が必要であると考えますか。あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 社会福祉協議会など福祉専門職による支援
- ☐ 2. 行政による支援
- ☐ 3. 活動をおこなう場所
- ☐ 4. 活動のための資金
- ☐ 5. 活動をおこなう人材が継続的に活動を続けられる仕組み
- ☐ 6. 活動の担い手の後継者
- ☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：_____）
- ☐ 8. わからない

質問 12. あなたが知っている、地域福祉活動への支援をおこなっている福祉専門職は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区社会福祉協議会の地域支援担当職員
- ☐ 2. 見守り相談室 CSW（見守り相談員）
- ☐ 3. 生活支援コーディネーター
- ☐ 4. 区役所職員（保健師等）
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：_____）

☐ 6. わからない

質問 13. あなたが活動されている地域における、区社会福祉協議会の地域支援担当職員などの福祉専門職による支援の状況について、あなたの考えに近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 十分におこなわれている
- ☐ 2. 支援はおこなわれているが、十分ではない
- ☐ 3. ほとんど支援がおこなわれていない
- ☐ 4. 支援がおこなわれていない
- ☐ 5. わからない

質問 14. あなたが福祉専門職による地域福祉活動への支援に期待することは何ですか。あなたの考えに近いもの3つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言
- ☐ 2. 活動者を対象とした会議や研修などの開催
- ☐ 3. 地域課題を解決するための会議への参画
- ☐ 4. 新たな活動の立ち上げ支援
- ☐ 5. 広報啓発活動への支援
- ☐ 6. 地域福祉活動の担い手の養成への支援
- ☐ 7. 地域資源の開発
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 9. 特にない

【V. 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進】

質問 15. 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除いて、あなたの地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 地域で活動している社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 2. 地域で活動している NPO 法人などの市民活動団体
- ☐ 3. 企業
- ☐ 4. 個人事業主
- ☐ 5. 学校
- ☐ 6. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 7. 特にない
- ☐ 8. 知らない

質問 16. 地域住民、地縁団体、行政・社会福祉協議会を除く主体が実施する地域福祉活動に期待することは次のうちどれか。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 専門性（知識やノウハウ）を活かした活動

- ☐ 2. 豊富な人材を活かした活動
- ☐ 3. 資金協力（行事への協賛など）
- ☐ 4. 継続的な参画
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 6. 特にない

質問 17. あなたが地域福祉活動をおこなううえで、どのような社会資源を活用したいと考えていますか。あなたの考えに近いもの3つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 地域で活動している社会福祉法人（社会福祉施設等）
- ☐ 2. 地域で活動している NPO 法人などの市民活動団体
- ☐ 3. 地域にある企業
- ☐ 4. 地域にいる専門的なスキルを有する人材
- ☐ 5. 市内の大学や専門学校などに通う学生
- ☐ 6. 地域にある地域集会施設やコミュニティ施設
- ☐ 7. 空き家や空き店舗
- ☐ 8. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 9. 特にない

質問 18. 地域にある社会資源を活用しやすくするには何が必要と考えますか。（回答は1つ）

- ☐ 1. 地域にある社会資源の情報
- ☐ 2. 人材の交流の場
- ☐ 3. 活用に要する手続きの簡素化
- ☐ 4. 活用に要する費用の低廉化
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 6. わからない

【VI. 災害への備えについて】

質問 19. 避難や救助が必要となる災害が発生した場合、家族や親類以外であなたが頼りにできるとお考えになるものに✓印をおつけ下さい。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 友人や知人、近所の人
- ☐ 2. ケアマネージャーや相談支援専門員、ホームヘルパーなどの福祉サービス事業者
- ☐ 3. 町会、自治会、地域活動協議会、地域社会福祉協議会などの役員
- ☐ 4. 民生委員・児童委員
- ☐ 5. 地域福祉コーディネーター※（地域福祉活動の推進役）
※区ごとに名称が異なる（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）
- ☐ 6. 区役所や区の保健福祉センター
- ☐ 7. 区の社会福祉協議会
- ☐ 8. 地域包括支援センターや総合相談窓口（ランチ）

- ☐ 9. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 10. 病院、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師
- ☐ 11. 消防・警察・自衛隊
- ☐ 12. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 13. 頼りにできる人（機関）はいない
- ☐ 14. わからない

質問 20. お住いの地域で、避難や救助が必要となる災害が発生した場合、高齢者や障がいのある方など避難の支援や生活上の配慮が必要となる人を知っていますか。

- ☐ 1. 知っている
- ☐ 2. 知らない

質問 21. 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営をおこなうことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。あなたの考えに近いもの 3 つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと
- ☐ 2. 避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- ☐ 3. 住民同士で互いの家庭状況（家族構成・介護の必要等）についてある程度知っておくこと
- ☐ 4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- ☐ 5. ハザードマップ等で地域の危険な場所を知っておくこと
- ☐ 6. 地域の災害時避難所を知っておくこと
- ☐ 7. 避難勧告・避難指示（緊急）などの意味を知っておくこと
- ☐ 8. 防災訓練に参加すること
- ☐ 9. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 10. わからない

質問 22. 防災に関する次の取り組みのうち、ご存知のものに✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 大阪市地域防災計画
（自然災害に対して大阪市域で行政や事業者、住民の方が取り組むことを定めた計画）
- ☐ 2. 区防災計画
（お住まいの区において区役所や事業者、住民の方が取り組むことを定めた計画防災計画）
- ☐ 3. 地域防災計画（お住まいの地域において住民の方を中心に取り組むことを定めた計画）
- ☐ 4. 市民防災マニュアル（保存版）（平成 27 年春に全戸配布した防災啓発冊子）
- ☐ 5. 水害ハザードマップ
（津波や河川洪水により浸水が予想される場所・深さを示した各区別マップ）
- ☐ 6. 避難行動要支援者名簿（大地震や風水害などの災害が起きた時、自力で避難することが難しく、支援が必要な方の名簿。災害時における救出・救護に活用）
- ☐ 7. 福祉避難所（災害時において、高齢者や障がいのある方など、一般の避難所生活において特別な配慮を必

要とする方々を対象に開設される避難所)

- ☐ 8. 津波避難ビル・水害時避難ビル（津波や河川氾濫から身を守るために避難するビル）
- ☐ 9. 大規模災害時協力事業所（地震・風水害等の大規模災害が発生した際に、災害対策に協力いただくことのできる企業・事業所）
- ☐ 10. 自主防災組織（防災という共通の目的をもって活動する地域の皆さんの集まり）
- ☐ 11. どれも知らない

【Ⅶ. 地域における見守活動について】

質問 23. 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラブなどの地域住民による友愛訪問、災害時の要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、あなたは地域で行われている見守り活動の課題は何であると考えますか。あなたの考えに近いもの 3つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 見守りの対象となる世帯の増加
- ☐ 2. 町会等による地縁関係の希薄化
- ☐ 3. 担い手の不足（担い手の高齢化）
- ☐ 4. 見守り活動の認知不足
- ☐ 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- ☐ 6. わからない

【Ⅷ. 相談支援体制の充実に向けて】

質問 24. 地域の人から困りごとなどの相談を受けたことはありますか。また、その頻度はどれくらいですか。あなたの状況に近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. ある（ほぼ毎日）
- ☐ 2. ある（週に数回程度）
- ☐ 3. ある（月に数回程度）
- ☐ 4. ある（年に数回程度）
- ☐ 5. ない

【質問 24 で（1～4. ある）と答えた人にお聞きます】

質問 24－1. 地域においてどのような相談を受けることが多いですか。上位 3つ以内 に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 自身や家族の健康のこと
- ☐ 2. 自身や家族の老後のこと
- ☐ 3. 子育てや子ども、孫の将来のこと
- ☐ 4. 家族の人間関係のこと
- ☐ 5. 仕事や年金などの収入のこと
- ☐ 6. 地域での人間関係のこと
- ☐ 7. 地域の治安のこと
- ☐ 8. 地域の生活環境のこと

☐ 9. その他（具体的にお書き下さい：.....）

質問 25. 地域の方から相談を受けた際によくつなぐ機関はどこですか。上位 3 つ以内に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 区役所
- ☐ 2. 区社会福祉協議会
- ☐ 3. 地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの相談支援機関
- ☐ 4. 病院
- ☐ 5. 警察
- ☐ 6. 生活困窮者自立相談支援窓口

※生活に困りごとを抱えた方に向けて、生活保護に至る前の早い段階から支援をおこなう各区役所に設置されている窓口のこと

各区で呼び方が異なる（例：生活自立相談窓口、くらしサポートセンターなど）

☐ 7. その他（具体的にお書き下さい：.....）

質問 26. 生活に困りごとを抱えた方に向けて、生活保護に至る前の早い段階から支援をおこなう窓口（生活困窮者自立相談支援窓口）が各区役所に設置されていることを、ご存知ですか。

- ☐ 1. 知っていて、誰かに紹介したことがある
- ☐ 2. 知っているが、誰かに紹介したことはない
- ☐ 3. 聞いたことはあるが、何をしているか具体的には分からない
- ☐ 4. 知らない

【IX 虐待防止の取り組みについて】

質問 27. 高齢者や障がいのある方、児童への虐待の疑いがある状況を発見した場合、通報（通告）しますか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 必ず通報（通告）する
- ☐ 2. 場合によっては通報（通告）する
- ☐ 3. 場合によっては通報（通告）しない
- ☐ 4. 通報（通告）しない

質問 28. 虐待を通報（通告）する場合、どのような通報（通告）先をご存知ですか。あてはまるものに✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 区の保健福祉センター
- ☐ 2. こども相談センター
- ☐ 3. 児童虐待ホットライン（大阪市こども相談センターが実施）
- ☐ 4. 子どもの虐待ホットライン（児童虐待防止協会が実施）
- ☐ 5. 民生委員・児童委員、主任児童委員
- ☐ 6. 地域包括支援センター
- ☐ 7. 総合相談窓口（ランチ）

- ☐ 8. 障がい者基幹相談支援センター
- ☐ 9. 警察
- ☐ 10. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 11. 知っている通報（通告）先はない

質問 29. 虐待の通報（通告）をためらうとすれば、どのような理由からですか。あなたの考えにいちばん近い答えに✓印をおつけください。（回答は1つ）

- ☐ 1. 虐待ではないかもしれないから
- ☐ 2. 通報（通告）したことを相手に恨まれるかもしれないから
- ☐ 3. 誰が通報（通告）したか相手に知られるかもしれないから
- ☐ 4. 虐待をしたという証拠がないから
- ☐ 5. 面倒に巻き込まれたくないから
- ☐ 6. その他（具体的にお書きください：_____）
- ☐ 7. 理由は特にない

【X. 成年後見制度等の利用促進に向けて】

- 「成年後見制度」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、法的に権限を与えられた成年後見人等が、本人に代わって福祉サービスの利用契約や適切な財産管理をおこなうことで、その方の生活を支援する制度です。中には、「法定後見（判断能力の低下に応じて利用する）」と、「任意後見（将来の判断能力の低下に備えてあらかじめ契約しておく）」の二つの制度があります。
- 「市民後見人」とは、家庭裁判所から成年後見人等として選任された一般市民のことです。専門組織による養成・支援を受けながら、地域福祉の視点から身近な市民という立場で後見活動を展開する権利擁護の担い手です。
- 「あんしんさぽーと事業」とは、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活が送れるよう、本人との契約に基づき、お住まいの区の社会福祉協議会において、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理をお手伝いする事業です。

質問 30. 次のうち、あなたが以前からご存知だった制度等に✓印をおつけください。（回答はいくつでも可）

- ☐ 1. 法定後見制度
- ☐ 2. 任意後見制度
- ☐ 3. あんしんさぽーと事業
- ☐ 4. 市民後見人
- ☐ 5. 知っている制度等はない

質問 31. 地域の方から判断能力の低下に関する相談をされたときのつなぎ先はどこですか。

- ☐ 1. 大阪市成年後見支援センター
- ☐ 2. 区役所（区保健福祉センター）
- ☐ 3. 区社会福祉協議会
- ☐ 4. 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）

- ☐ 5. 障がい者基幹相談支援センターまたは地域活動支援センター（生活支援型）
☐ 6. わからない

【XI. あなたご自身のことについて】

〔ご協力ありがとうございました。今までお聞きしたことを整理するために、あなたご自身のことなどをおきかせください。〕

A. あなたの性別について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性 ☐ 3. その他、または、答えたくない

B. あなたの年齢について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 10 歳代 ☐ 2. 20 歳代 ☐ 3. 30 歳代
☐ 4. 40 歳代 ☐ 5. 50 歳代 ☐ 6. 60 歳代
☐ 7. 70 歳代 ☐ 8. 80 歳以上

C. あなたの職業について、いちばん近いと思われるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 会社員（団体職員）
☐ 2. 自営業
☐ 3. 公務員
☐ 4. パート、アルバイト
☐ 5. 学生
☐ 6. 専業主婦、主夫
☐ 7. 無職
☐ 8. その他（具体的にお書きください：.....）

D. あなたがお住まいの区に✓印をおつけください。

- ☐ 1. 北区 ☐ 2. 都島区 ☐ 3. 福島区 ☐ 4. 此花区
☐ 5. 中央区 ☐ 6. 西区 ☐ 7. 港区 ☐ 8. 大正区
☐ 9. 天王寺区 ☐ 10. 浪速区 ☐ 11. 西淀川区 ☐ 12. 淀川区
☐ 13. 東淀川区 ☐ 14. 東成区 ☐ 15. 生野区 ☐ 16. 旭区
☐ 17. 城東区 ☐ 18. 鶴見区 ☐ 19. 阿倍野区 ☐ 20. 住之江区
☐ 21. 住吉区 ☐ 22. 東住吉区 ☐ 23. 平野区 ☐ 24. 西成区

E. 現在のお住まいでの居住期間について、あてはまるものに✓印をおつけください。

- ☐ 1. 1 年未満
☐ 2. 1 年～5 年未満
☐ 3. 5 年～10 年未満
☐ 4. 10 年以上

F. あなたがお住まいの地域で担っておられる役割は何ですか。

- ☐ 1. 民生委員・児童委員
- ☐ 2. 地域福祉コーディネーター（旧ネットワーク推進員）
※区ごとに名称が異なる（例：ネットワーク推進員、見守り推進員、地域支援相談員など）
- ☐ 3. その他（具体的にお書きください：.....）

大変お手数をおかけしました。
同封の封筒に入れて、ご返送ください。
ご協力ありがとうございました。